

別記様式第5号（第2条関係）

記 録 票

|  |                        |     |      |  |  |    |    |
|--|------------------------|-----|------|--|--|----|----|
| (教育長)  | 課 長                    | 主 幹 | 課長補佐 | 係 長  | 係 員  |    |    |
| 小西   | 真鍋                     |     |      | 中川   | 奥田   | 坂本 | 村重 |
| (関係課： )  |                        |     |      | 報告者職名・氏名<br>課長補佐 浅井田 展彦  |  |    |    |
| 件名 令和2年度第3回教科用図書選定委員会 (中学校)  |                        |     |      | 方法 <input checked="" type="checkbox"/> 来庁 <input type="checkbox"/> 出張 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他 |  |    |    |
| 内容 <input checked="" type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 質問 <input type="checkbox"/> (こちらから) 照会 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> その他 ( )   |                        |     |      |  |  |    |    |
| 令和2年7月27日(月)14時00分～17時30分  |                        |     |      | 場所 大竹市役所1階職員休憩室  |  |    |    |
| 出席者  | 総務学事課課長補佐兼教育指導係長<br>中川 |     |      | 相手方  | 【選定委員】   |    |    |
|  | 課長補佐 浅井田               |     |      |  | 大橋 綾子 (小方中学校長)<br>久保 忠 (学識経験者)<br>畠中 和樹 (学識経験者)<br>沖村 龍一 (玖波中PTA)<br>三上 裕子 (大竹中PTA)<br>真鍋 和聰 (教育委員会) |    |    |
| <p>1 はじめに<br/>開会あいさつ (大橋会長)</p> <p>2 事務局説明</p> <p>(1) 配布資料の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大竹市教科用図書採択地区選定委員会答申整理表</li> <li>・各教科書会社の教科用図書 (各委員の後ろに設置)</li> <li>・令和2年度に県内の市町立小学校 (義務教育学校前期課程を含む) で使用する教科用図書の採択結果</li> <li>・令和2年度に県内の市町立中学校 (義務教育学校前期課程を含む) で使用する教科用図書の採択結果</li> </ul> <p>(2) 審議内容の説明</p> <p>本日の会では、配布した資料をもとに、種目ごとに協議し、最も適切と思われる教科書を選定し、その選定理由を明らかにして、教育委員会への答申案の協議をしてもらいたい。</p> <p>なお、前回開催の委員会で決まったとおり、本選定委員会で1つの教科書に絞り込む事が難しい場合には、最大2つの教科書を、できるだけ順位付けした形で選定してもらいたい。</p> <p>大竹市教科用図書採択地区選定委員会答申整理表は本日の協議内容を整理する形で自由に活用してもらいたい。</p> |                        |     |      |  |  |    |    |

### 3 選定する教科書及び理由の協議（【委】選定委員，【長】会長）

#### ○協議

【委】今使用している教科書の一覧表はあるか。一覧表があった方が良いのか、迷うところだが、選定過程で甲乙つけがたいときに参考にできないだろうか。

【委】一緒にしないといけないことは全くないが、小学校のときの教科書との連携等を考慮する参考にはなる。

【委】順位付けについては、どう考えるのか。

【委】教育委員会委員の立場からすると、順位をつける方が助かるのではないかと思う。

【長】順位付けは協議の中で決めることにはなるが、あった方が望ましいとは思ふ。

#### ○国語

【委】調査員の報告からは、東書か光村かに絞られていた。現在、東書を使用しており、小学校も東書を使用している。

東書も光村も甲乙つけがたい。国語という科目は着けたい力がぼんやりしがちであるが、教育指導要領に沿った形ではっきりしているのは東書ではないかと思う。

【委】この2者はいずれも優れているが、生徒がつまずきやすい文法の学習では、東書の方が学びやすいと思う点からして、東書が良いと思う。

【委】報告の中でも、教師にとっての教えやすさと生徒にとっての学びやすさという2つの観点が出た。コロナの影響で休校になったときに自習の教材の中心は教科書になるので、学習者の学びやすさが重要になり、選定理由の重要なポイントになると思う。

【委】他者と比較して東書は丁寧なつくりになっている。例えば、1年生のところでは、教えるのが難しい「要約の仕方」がかなり詳しく説明されていたり、2年生では物語の中の問いも具体的で、多様であったり、3年生ではスピーチについても丁寧に説明されていると感じた。

【長】国語については東書1者を選定し、次の選定理由で良いか。

（全員了承）

#### 選定理由

- ・単元の導入に生徒に持たせる工夫があり、課題設定をしやすい。単元でつけたい力が明確に示されている。
- ・作品例が学習の手順それぞれに示されていて、具体的で分かりやすい。
- ・豊富な種類の図表を扱っており、図表の役割を問う課題も設定されているので、図表の効果や特徴について考えることができ、言語活動に生かすことが可能である。
- ・文法は説明と問いがセットになっており、授業の構成がしやすい。また、細かな使い分けが特集されており、紛らわしい文法を押さえる場合は有効である。

## ○書写

【委】国語と書写の教科書会社が違っていても問題はないと聞いている。

【委】報告でもあったように、手本に補助線が必要かということがポイントになる。東書と光村それぞれに良さがあるので、そのポイントをどう捉えるかが争点になると思う。

【委】光村には、硬筆の練習に良い別冊がついていて、硬筆を充実させる視点からすると光村が良いという見方もある。

【委】当初のイメージでは光村だったが、現場の意見を大切にしたいので、補助線がついている東書が良いと思う。

【委】長所としては、補助線と動画のコンテンツの2つは大きなポイントだと思う。

【委】東書は、他者と比較して、「書写のかぎ」学習の流れや手順が明確で分かりやすいと思う。

【長】それでは、書写については東書1者を選定し、次の選定理由で良いか。

(全員承認)

### 選定理由

- ・「見つけよう→確かめよう→生かそう」という三段階で学習過程が示されており、それぞれの過程でどのような学習をするのかが明確で、活動の見通しが立てやすい。
- ・手本が平明な文字で示されており、中心線や補助線があり、学びやすい手本である。28の教材が動画で書き方を確認でき、いろいろな活用の仕方が考えられる。
- ・学ぶべきポイントが「書写のかぎ」という形で示されていて、学習者にとって付けたい力が明確である。

## ○社会（地理的分野）

【委】私は東書が良いと思う。「チェック」と「トライ」で基礎的なものと発展的なものを学習ができるということ、探究課題を設定しクイズなどで自主学習ができること、他者と比較して「日本の諸地域」では7地方を学ぶ視点が示され明確になっており、特に中国地方のことが詳細に記載されていることが理由である。

【委】社会科には科学的探究の視点がたいへん重要である。その意味で、他者と比較して、どの章にも「なぜ」という問い方が貫かれている点と、答えがないが考え続けなければならない学習課題を所々、まとめのところで設定されているため、東書が良いと思う。地理的分野だけでなくどの分野でも感じたところである。

【委】こういうのがあると、今からの若い教員にとっては、ブレのない指導の手助けにはなると思う。

【長】社会（地理的分野）については東書1者を選定し、次の選定理由で良いか。

(全員承認)

### 選定理由

- ・学習課題を解決するために、項の学習の最後（見開き2ページの下部）に取り組む課題が設定されており、「チェック」で基礎的・基本的な内容を確認したのち、「トライ」で発展的な学習ができるよう工夫されている。（p 4, 9, 11, 13, 17など）
- ・編・章の学習を貫く「探究課題」を設定し、課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという3つの流れで構成し、クイズ作りなど楽しみながら生徒が自主学習できる探究的な学習活動も仕組んでいる。（p 4, 5, 19, 31など）

- ・「日本の諸地域」の学習の進め方について、地域の特徴をとらえる視点がカテゴリ別に示され、7地方の学ぶ視点を示す一覧表があるため、分かりやすい。(p184)
- ・「みんなでチャレンジ」のコーナーでは、他者との協働学習から学ぶことができるよう課題が設定(p18-19, 86-87など)されており、各章末での「〇〇の学習をまとめよう」や「探究課題を解決しよう」のコーナーで、調べたり考えたりしたことを自分の言葉でまとめる学習が設定されている。
- ・どの章にもブレなく指導できるよう学習課題が設定されており、社会科における課題発見解決学習が進めやすい作りになっている。

#### ○社会（歴史的分野）

【委】帝国も見だが、「地域の歴史を調べよう」の中で、大竹市も平和学習について沖縄との交流もあるし、被爆地広島について言及されていることだけを考えても東書が良いと思う。

【委】東書は、他者と比較して、「探究のステップ」において、まずメイン・クエスチョンがあって、サブ・クエスチョンで「どのように」と考えさせて、メイン・クエスチョンを解決させるという流れ、根拠等を整理させている、そういう一貫した構成が良い。「探究課題」でその時代の特色をトータルでまとめるようにしている。

【長】社会（歴史的分野）については、東書1者を選定し、次の選定理由で良いか。

（全員承認）

#### 選定理由

- ・各章・各節の学習を貫く「探究課題」を詳細かつ明確に示し、さらに1単位時間の学習の「学習課題」が設定され、章の終わりには「探究のステップ」において、まとめる手順も示されている。
- ・「地域の歴史を調べよう」の中で、地域の復興と平和への思いの視点から、被爆地広島についての調査を紹介している。
- ・地理的分野と同様に、学習課題がしっかり立てられており、生徒にとって課題発見解決学習が進めやすい作りになっている。

#### ○社会（公民的分野）

【委】報告の長所の数でいうと、東書と現在使用している日文の2つが候補となる。東書の長所は、地理や歴史と構成が同じなので同様な内容となっているが、日文はどうでしょう。

【委】日文は、東書と比較して「なぜ疑問」が少なく、事実を確認する「どのように」が多い。節を貫くメイン・クエスチョンがない。一方で「チャレンジ公民」で見方・考え方を働かせ考えさせるところは評価できる。

【委】取り組みやすくなっていると捉えるべきなのかもしれないが、漫画が多いのが気になる。

【委】生徒にとって、地理や歴史よりも公民は取り組みにくい分野であるから、漫画があった方がよい。

【委】人権については、流れが良いのは東書だと思う。

【委】教える側からすると、日文から東書に変わるというデメリットはあるかもしれない

が、地理と歴史が東書であれば、構成が同じなので使いやすいというメリットも感じるかもしれない。

【長】社会（公民的分野）については、東書1者を選定し、次の選定理由で良いか。  
（全員承認）

#### 選定理由

- ・「効率と公正」のような公民的な見方・考え方を働かせ考察させる課題（例：p164）が設定されている。また、具体的に働かせる見方・考え方が示されている。
- ・学習指導要領でも「見方・考え方を働かせる」ことが重要視されており、単に知識を身に着けるのではなく、思考したり判断したり表現したりさせるための工夫がある。
- ・地理や歴史でも取り上げたように学習課題が明確に示されていて、課題発見解決学習に取り組みやすい構成である。

#### ○地図

【委】東書は、いろんな情報が盛り込まれており、帝国書院は地図が中心になっている。東書は地図帳としては活用しづらい。

【委】地図として分かりやすい方が良いと思う。視覚的な面も評価したい。

【委】東書は、地図の色が濃すぎて文字が見えにくい。

【長】地図については、帝国書院1者を選定し、次の選定理由で良いか。  
（全員承認）

#### 選定理由

- ・色が鮮明で地図が分かりやすい。（東 p15-16, 帝 p9-10を比較）
- ・地図の表記（色、活字、境界線など）が工夫されており、読み取りやすい。（例えば帝 p1-3と東 p1-3を比較）
- ・地図本来の機能を兼ね備えていて、資料として活用しやすい。

#### 休憩

#### ○数学

【委】報告では、東書と学図あたりが評価されていた。学図は基礎重視で東書は基礎と活用のバランスが良いということだったと思う。

【委】啓林館は前回も評価が少し悪かったが、啓林館を使用していた小学校との流れを考えての選定だったと記憶している。

【委】東書より学図の方が、問題数が多いと感じた。

【委】基礎的な内容と問題数の多さは特に大竹の子にとって欠かせないと思うので、東書より学図の方が良いと思う。

もう一つは、学図は、数学の教科書の作り方が、「問題発見」（主体的）→「考えよう」（対話的）→「まとめよう」（解決を深める）→次の「問題発見」→「確かめよう」（数学的活動）→「振り返ろう」という一連の流れが整理されていて、スタイルとして出ている部分は、生徒が学ぶときに数学思考力や技能を高めるのではないかと感じた。

【委】作りがすっきりとして、レイアウトが分かりやすく、重要なポイントの示し方が

分かりやすい。

【長】数学については、学図1者を選定し、次の選定理由で良いか。

(全員承認)

#### 選定理由

- ・「Q」の隣にポイントとなる見方・考え方が明示してあり、以後の学習で大切なポイントを抑えることのできる工夫がある。
- ・小数や分数を含む方程式では解答例の枠内に吹き出しを設けて手順を明記し、理解を助けている。
- ・「数学的活動のページ」では、課題発見から課題解決までの具体的な活動が示されており、モデルの考え方とともに自分の考えも説明し伝え合う活動が設定されている。また、すべての「Q」に、生徒のつぶやきや疑問が吹き出しの形で示され、話し合い活動を意識した構成になっている。
- ・練習問題の数が多いことも特徴であり、基礎・基本の力を身に付けやすい構成である。

#### ○理科

【委】調査員の報告では東書が評価されていたと思う。東書は、縦長の個性的な形について質問させていただいたところ、調査員からは特別な支援が必要な生徒には分かりやすいとのことだった。

【委】東書は、AB版の縦長にした方が良いというねらいがあるということである。

【委】どの出版社にもスタイルがあるが、「課題発見」→「課題構想」→「実験」→「実験結果」から考察していくという東書のスタイルはすっきりして比較的良いと思うが、電気回路の中で生徒がつまづきやすい箇所のページ数が他者より少ない。例えば、オームの法則に5ページしか書いていない。モデル化は東書が分かりやすい。

【委】東書は、探究のところで、実験する場合は「課題、解説、実験、結論」、観察する場合は「課題、構想、観察」というふうに、実験と観察で学習の仕方が分けてはっきり書かれていて分かりやすい。また、他者と比較して、全体的にみると安全面については丁寧に分かりやすく書いてある。硫化鉄の実験の説明で、脱脂綿でふたをする理由が東書だけ書かれていないことが、数年前に事故があったのでどうしても気になるが、全体的には東書が良いと思う。

【長】理科については、東書1者を選定し、次の選定理由で良いか。

(全員承認)

#### 選定理由

- ・探究のフローチャートで探究の過程が明確化されており、「課題に対する自分の考えは?」「調べ方を考えよう」「考察しよう」など探究の過程に直結した言語活動が配置されている。
- ・各ページ左下に探究のどの過程を学習しているかが図式化して示され、生徒に学習過程を意識させる工夫がある。
- ・写真とモデル図の構造を工夫し、粒子概念を理解しやすい工夫がされている。
- ・他者と比較して、安全に関する指導が丁寧に分かりやすい。

○音楽【一般】

【委】生徒が歌いやすい曲が多いのは教芸だと思う。

【委】どちらにも「ふるさと」という曲があるが、教出は4部合唱になっていて、生徒にとって難しい。

【委】共通事項の説明の分かりやすさは重要であり、教芸が良い。

【委】教芸は、歌うことにしても鑑賞にしても、学習の仕方等が全体的に丁寧である。

【長】音楽（一般）については、教芸1者を選定し、次の選定理由で良いか。

（全員承認）

選定理由

- ・題材ごとに、大きなねらいとそのねらいに基づく具体的な学習課題が示しており、見通しをもった学びが実現できる。
- ・共通事項の説明が楽譜と共に説明されており分かりやすい。
- ・学習の仕方がきめ細かく、丁寧に扱われていて学びやすい。
- ・全校合唱「ふるさと」は、難易度が高すぎず学びやすい。

○音楽（器楽合奏）

【委】報告では【一般】の発行者と異なって良いということだったが、現状で別々の教科書を使用している市町はない。特に、劣るといことがなければ、同じ発行者にしておいた方が良いと思う。

【委】教芸の方が、タンギング等については丁寧だということだった。

【委】ギターダイアグラム（コード表）の説明が、教芸はイラストで、教出は写真になっているが、どちらも長所になっている。どちらが良いのか。

【委】写真の方が見づらいと思う。ギターの雑誌でも、写真ではない。マイナーコードを押さえるような練習曲数は教出が多かったが、ギターを使用する授業数が非常に少ない。興味がある生徒にとってはイラストで示されている教芸の方が良い。

【委】特に大竹市では太鼓をすることが多く、打楽器について丁寧に示している教芸の方が良い。

【長】音楽（器楽合奏）については、教芸1者を選定し、次の選定理由で良いか。

（全員承認）

選定理由

- ・学習を深めるポイントが分かりやすく提示されている。
- ・各楽器がバランスよく取り上げられている。
- ・ギターダイアグラム（コード表）が、イラストで押さえる弦が分かりやすく示されている。
- ・器楽演奏を学ぶ中学生にとって、学習の仕方が丁寧に示されていて学びやすい。

## ○美術

【委】開隆堂は大きく、作品集のようである。

【委】ページ数としては、光村が多い。

【委】光村は、生徒が興味を示す描き方がたくさん示されている。(58～63ページ)

【委】光村は、全体的にすっきりしていてレイアウトも工夫されている。

【委】光村の方は、製作の手立てや過程が紹介されているので、生徒も学びやすい。開隆堂は作品が中心になっているのでどう描くのかということは示されていない。

【委】光村は、鑑賞と表現を意識したつくりになっている。

【委】他者と比較して、光村は言語活動について順番等工夫して分かりやすくしてある。

【長】美術については、光村1者を選定し、次の選定理由で良いか。

(全員承認)

### 選定理由

- ・全体的にすっきりとした構成。地色を変えての囲んだ記事などレイアウトの工夫で見やすい。QRコードでの指示も明確で動画や参考作品、制作工程、作品解説などが見られる。
- ・一つの題材の中で「表現」「鑑賞」を一体的に学べるような構成となっており、学習の流れが分かりやすい。
- ・話し合いを促す記述が多く、どの題材も最初に鑑賞が入るため自然に言語活動が活発になりやすい。「話し合ってみ方や考え方を広げる」という項目がある。
- ・生徒がねらいを明確にして学びやすい。

## ○保健体育

【委】学研は、他者と比較すると、レイアウトの工夫が使いやすい。

【委】学研は、学習の流れが確立されており、グラフや資料、写真もそれにそってうまく構成されていて使いやすい。

【委】東書は以前に比べてイラストが多くなって柔らかくなり、学研と同レベルになってきた。そうなると学研の方が断然使いやすい。

【委】学研の薬物乱用のページは、生徒にとっては趣旨が伝わりやすい。

【委】学研はフォローもある。

【長】保健体育については、学研1者を選定し、次の選定理由で良いか。

(全員承認)

### 選定理由

- ・学習の流れの中で、身近な課題について、生徒が自ら学び、自ら考えることができるような工夫が見られる。
- ・生徒の発達段階を踏まえた身近な問題や自他の問題が取り組めるように、学習指導要領に示された内容をもとに学年別に構成されている。
- ・生徒が自分の生活に結び付け、切実に課題に取り組める内容になっている。

休憩



○技術・家庭（技術分野）

【委】「歴史の変遷」は、技術の進歩が歴史の推移とともにあるため興味をもたせる上で重要であるが、その記載があるのは開隆堂だけである。

【委】東書と開隆堂はコンピューターの基本操作である、Word、表計算、プレゼンの使い方が示されている。これは、高校の学習内容に対応しているため評価できる。特に、表計算について開隆堂は4ページを割いている。

【委】大竹市の特徴として水産資源がある点や工業地帯がある点を考えると、水産生物育成のところや工具の使い方等の技術の専門性についての記載は開隆堂が良い。

【長】技術・家庭（技術分野）については、開隆堂1者を選定し、次の選定理由で良いか。

（全員承認）

選定理由

- ・ガイダンスにおいて技術を学ぶ意義、学び方について丁寧に記載されている。
- ・ガイダンスにおいて技術の見方、考え方、技術の最適化について丁寧に説明があり、技術を学ぶ本質的な意義について気づかせるよう工夫されている。
- ・高校への学習内容につながるコンピューターの基本操作の学習が丁寧に扱われている。
- ・技術の専門性について地域の実態を生かしながら学ぶことができる。

○技術・家庭（家庭分野）

【委】家庭科の中でも大切な包丁の使い方については、東書が詳しい。

【委】献立作りが主菜→主食→副菜→汁物となっているが、主菜が一番目に来ているのは東書だけである。主食はほぼ決まってしまうのでこの順番が良い。

【委】東書は、高齢社会に対応して高齢者の身体の変化を丁寧に扱っている。

【長】技術・家庭（家庭分野）については、東書1者を選定し、次の選定理由で良いか。

（全員承認）

選定理由

- ・生活の課題と実践の具体例が12テーマ示してあり、学習の流れが分かりやすく提示されている。また、対話的、協働的な学習を展開するための、思考ツールの紹介や、具体的な実践例の紹介により、学びを深め、課題解決を家庭だけではなく、社会につなげていくという展開の工夫がある。（p267～283）
- ・「高齢者の体の特徴」における「高齢者とのかかわり方」では、実際の介助の仕方を、資料の図によって理解しやすい。（p259）
- ・包丁の持ち方、切り方、食材の切り方等が絵や写真を使って、丁寧に説明してある。また、ページの下に定規がついているので、おおよそのイメージが付きやすい。技能を身に付けやすい工夫がある。（p58～59）
- ・日常生活へのつながりや現代社会の課題への直結など、生活に生かしやすい内容である。

## ○英語

【委】小学校は今年度から英語が科目になっている。教科書は東書である。

【委】英語に限っては、小中の接続は重要であると思う。

【委】小学校の英語は、「話す」「聞く」に「読む」「書く」は入るのか。

【委】「書く」は書き写す程度である。

【委】東書は、小学校で学習した重要文型が短い対話に盛り込まれており、1年生に限るが小学校からの接続を意識した指導がしやすい。

【委】東書で良いと思った箇所は、広島県のこと記載されており、広島のことを英語で話ができたり、英語で聞けたりするなど地域の実態に即している。(3年生の52ページ)

【委】東書は、キー・センテンスについての説明において、文法の示し方に工夫がある。また、「Stage Activity」で学習の定着を図られている。3年間の総まとめが設定されている。

【委】東書は、「Grammar for Communication」等、全体的に分かりやすく、丁寧である。視覚的支援もうまく、目次においても学ぶポイントがすっきりと示されていて、何を学ぶかが分かりやすい。

【長】英語については、東書1者を選定し、次の選定理由で良いか。  
(全員承認)

### 選定理由

- ・小学校からの接続は、1学年の「Unit 1」～「Unit 5」まで続く。各「Unit」の「Enjoy Communication」では小学校で学習した重要文型が短い対話に盛り込まれてふり返りができるようになっている。小学校外国語科の教科書も「New Horizon」を使用しており、小学校で学んだ内容がスムーズに中学校に接続される。
- ・3学年最後の「Stage Activity」は、「Let's Have a Mini Debate」であり「主張とその理由を明確にしなが、ディベートをすることができる」がGOALで、ディベートの手順が示してある。取り上げられている論題は、“Japan is a good country to live in.”で、3年間の学習の総まとめとなるレベルの高い言語活動が設定されている。
- ・文法を学ぶための視覚的支援、ステップが示されており、地域の題材もとりあげていて、読み応えのある内容が掲載されている。

## ○道徳

【委】道徳の教科書を選定することは、特に責任を感じる。生徒の道徳性が育まれている状況を把握するためには、授業中の発言やワークシートの記述内容をもとに1年間どのように成長したかを評価していくことが大切なので、別冊の「道徳ノート」が付いている日文は小学校では指導しやすい。

【委】日文について報告書で課題として挙げられている「押しつけの道徳」を感じさせる箇所について読んでみたが、教材では生徒に考えさせるのは難しいので、どうしてもそうになってしまうのかなと感じた。(報告書161ページ)

【委】今の道徳は、自分はどうなのかということを考えさせることが多いが、良い「見方を変えて」という場面で、相手の立場に立ち、他の人はどうなのかということ考えさせることをより意識させようと試みているところがある光村も良いと思った。

【委】どちらにしてもワークシートを使用する必要が出てくるので、日文のように教科書に即した「道徳ノート」があった方が使いやすいし、評価もしやすいし、教師も指導しやすいので良いと思う。

【委】日文についてですが、最初の小学校の教科書が出たころは具体的な発問まで「道徳ノート」に書かれていて、教師もがんじがらめになっている感じがあったが、今はもうずいぶん教師に委ねられて改善されている。最近では、中心発問は教科書に書かれていて、考えを深めるきっかけになるようなものがほとんどで、道徳的価値観を高める構成や工夫があると思う。

【委】昔は生きている有名人を掲載するのは、その人が不祥事を起こす可能性があるのでタブーとされていたが、東書7人、光村1人、日文7人、学研8人、あかつき2人、日本教科書4人だが、教出では32人になっているのでどうなのかと思う。

【委】現代的課題である、いじめや情報モラルに関する事項はどの発行者も平均的に扱っている。

【委】日文は、登場人物の紹介をしていて読み物教材の理解を促すための工夫がある。

【長】道徳については、日文1者を選定し、次の選定理由で良いか。

(全員承認)

#### 選定理由

- ・教材の終わりに2問示され、「考えてみよう」で中心発問を、「自分に+1（プラスワン）」で自分との関わりについて深めるための問いがある。
- ・別冊「道徳ノート」があり、特別な教科である道徳の評価に生かしやすい。
- ・「道徳ノート」では、「友達の意見や話し合いをメモしよう」という欄も設けられ、多面的・多角的な見方を養うことができる。
- ・登場人物が巻頭で、写真やイラストで紹介され、教材の読解を促すための工夫がある。

#### ○選定結果

| 種目        | 発行者 | 種目          | 発行者 |
|-----------|-----|-------------|-----|
| 国語        | 東書  | 音楽(一般)      | 教芸  |
| 書写        | 東書  | 音楽(器楽合奏)    | 教芸  |
| 社会(地理的分野) | 東書  | 美術          | 光村  |
| 社会(歴史的分野) | 東書  | 保健体育        | 学研  |
| 社会(公民的分野) | 東書  | 技術・家庭(技術分野) | 開隆堂 |
| 地図        | 帝国  | 技術・家庭(家庭分野) | 東書  |
| 数学        | 学図  | 英語          | 東書  |
| 理科        | 東書  | 道徳          | 日文  |

#### 4 その他 事務局から

- (1) 本日の協議結果を整理し、事務局において教育委員会に対する答申案をまとめる。
- (2) 8月17日開催の教育委員会には大橋会長に出席してもらい、教育委員会へ答申をってもらう。答申を受けた教育委員会において審議を経た上で、教育委員会として令和3年度から使用する中学校教科用図書を正式に採択することになる。

5 会長あいさつ（大橋会長）

6 閉会あいさつ（真鍋総務学事課長）